

# 高齢者の買い物支払い時におけるキャッシュレス決済導入の効果と課題

## — 生活の質向上の促進に着目して —

### 1. 背景と課題

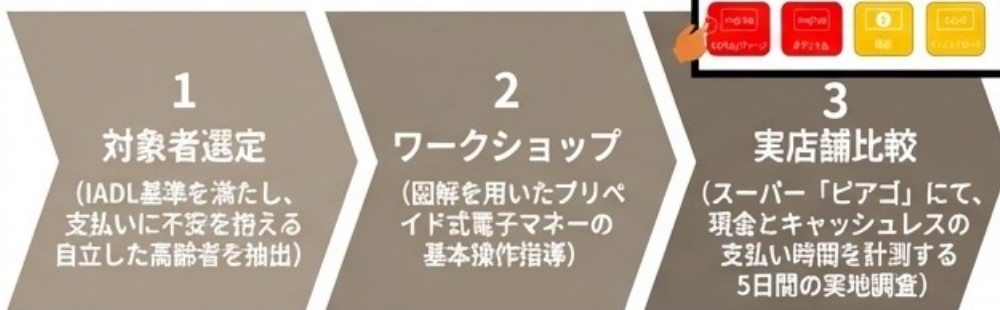
**40%** 調査対象者の40% (10/25人) が「小銭の取り出しに時間がかかる」と回答。

現金利用者の困りごと  
平均**2.3**件

キャッシュレス利用者の困りごと  
平均**1.4**件

超高齢社会において、手指の巧緻性低下による現金支払い（小銭の取り扱い）は、高齢者にとって煩雑で大きな身体的負担となっている。

### 2. 実証アプローチ



### 3. 結果と効果

**「74秒短縮」**



身体的負担の軽減

小銭の取り扱いによる細かい動作が不要となり、手指の巧緻性低下をカバー。



心理的ポジティブ変化

「使いやすい」「楽」といった肯定的な感情が形成され、利用意欲が大きく向上。

### 4. 結論と今後の展望

結論：キャッシュレス決済の導入は、高齢者の身体的・心理的負担を劇的に軽減し、日々の生活の質（QOL）向上に直接的に寄与する。

今後の展望：今回はプリペイド式電子マネーで検証したが、今後は他のキャッシュレス決済方法における有効性の検証が必要。